（４）外部試験器　共同住宅用

外部試験器で試験できる遠隔試験熱感知器・遠隔試験中継器は取扱説明書を参照。

外部試験器は熱感知器だけでなく遠隔試験煙感知器の試験もできる

社名	試験機型名	外形 写真又は図面	取扱説明書・図面番号 使用時の注意
ニッタン㈱	MTD		MTD（遠隔試験用外部試験器）
能美防災㈱	FTF014		TN50451
ホーチキ㈱	TSO-B06B		TSO-B06B 取扱説明書
パナソニック電工㈱ （旧松下電工㈱）	BGH9703		BGH9703

取扱説明書

ＭＴＤ（遠隔試験用外部試験器）

使用上の注意　**本試験器は感知器試験と受信機試験を一連の動作で行います。途中で試験を終了することはできません。使用する前に操作方法、注意事項をよく読み正しく使用して下さい。**

準備

１．**乾電池については市販品の００６Ｐアルカリ電池を必ずご使用下さい。**
（マンガン電池を使用すると正常動作しない場合があります。）

２．住棟受信機が接続されている場合は、本試験中において火災発報となりますので、**住棟受信機の試験復旧、主音響停止、地区音響停止、移信停止処置等を行って下さい。**

操作方法

１．**電源ＳＷを「ＯＮ」側にする。**
（電源灯が緑色で正常、赤色は電池容量不足を示します。）

２．**本試験器と中継器（遠隔試験機能付）を付属のケーブルで接続する。**
（ケーブルは２種類あるので中継器内部のコネクターを確認して下さい。）

３．**試験ＳＷを押す。**
”ピッ”音と共に本試験器の試験灯と個数表示灯の点滅及びドアホン子機も点滅を始めます。

４．約６秒後に接続されている感知器の試験を開始します。
順次正常な感知器数を個数表示灯にカウント表示します。感知器の試験終了後、個数表示灯のみ点滅から点灯となります。試験灯は点滅したままです。
感知器が正常の場合
個数表示灯にカウント表示された数と中継器に記載されている感知器設置個数が一致します。
感知器が異常の場合
個数表示灯にカウント表示された数と中継器に記載されている感知器設置個数が一致しません。

５．**感知器試験終了後、継続して自動的に受信機試験を行います。**
約３０秒間、ドアホン子機より警報音を発しますのでチェックを行って下さい。
（尚、受信機試験時に試験ＳＷを押すと試験を中断し操作方法７の状態になります。）

６．**試験が終了すると”ピッピッ”と２回鳴動後、試験灯が点滅から点灯に変わり、ドアホンの子機の警報音が止まります。**
その後、試験ＳＷを１秒間押すと”ピッピッピッ”と３回鳴動し、試験灯及び、個数表示灯が消灯し初期状態となります。（尚、この操作を行わない時でも約１０秒後に同じように初期状態に戻ります。）

７．**中継器からケーブルを外す。**

８．次の住戸の試験を操作方法２から行って下さい。

９．全住戸の試験が終了したら、電源ＳＷを「ＯＦＦ」側にして下さい。

注意事項

１．**試験中に試験器の電源ＯＦＦ及びケーブルを抜く動作を行わないで下さい。**
（感知器が火災状態になり、住戸内の受信機が実火災と判断する場合があります。）
受信機試験中やむを得ず試験を中断する場合は、試験ＳＷを押すことによって試験を正常に終了することができます。
上記以外の正常な終了方法はありません。
正常な終了を行わなかった場合は、必ず最初から試験をやり直し、試験を正常に終了させて下さい。

２．試験中に実火災が発生した場合、本試験器は即時試験を終了します。

３．断線故障がある場合は、個数表示灯に”９”を表示します。
この場合、受信機試験は行いません。
受信機は試験終了後、再度断線表示を行います。

４．中継器よりケーブルを抜く場合は、断線防止のためプラグ部分を持って行って下さい。

５．乾電池及び、ＡＣアダプターの取り付け、取り外しは必ず本体の電源ＳＷが「ＯＦＦ」側の時に行って下さい。

６．乾電池の寿命を延ばすため、試験を行わない時は電源ＳＷを「ＯＦＦ」側にして下さい。
又、本試験器を長時間使用しない場合は、乾電池の液漏れ、腐食防止のため乾電池を取り外して下さい。

７．夏期の直射日光の当たる場所や、締め切った車内、又は熱器具の近くには放置しないで下さい。変形、変色、故障の原因になることがあります。

８．本試験器に振動又は、衝撃を与えると故障の原因になることがあります。

９．表記以外の不明事項は弊社技術指導課（℡０３－３４６８－１１５１）までご確認下さい。

ニッタン株式会社

GK070081-1/2　2000.03.10

仕様	製品記号	ＭＴＤ	
	定格電圧	ＤＣ　９Ｖ	
	使用電池	００６Ｐ アルカリ電池	
	定格電流	２００ｍＡ	
	使用温度	０～４０℃	
	接続中継器	ＬＰＡ１、ＬＰＢ１	
	接続感知器	ＴＣＦ$_{(1)}$－６５－Ｌ（Ｗ）、２ＨＦ$_{(1)}$－Ｌ、２ＳＦ$_{1}$－Ｌ	
	表示関連	電源灯（２色LED　正常時：緑／低電圧時：赤）	1
		個数表示灯（7ｾｸﾞ１桁）	1
		試験灯（試験ＳＷに内蔵　試験中：赤）	1
	操作関連	電源ＳＷ	1
		試験ＳＷ（LED付）	1
	音響	圧電ブザー	1
	付属品	６極４芯モジュラーケーブル（電話用）	１ｍ
		４Ｐミニプラグ	２ｍ
	オプション	ＡＣアダプター　（ﾒｰｶｰ：ｺｽﾓ電元舎　MODEL：ＡＤ－７８７４）	

この試験器は、製造年月から起算して５年ごとに校正を受けることが必要です。
校正の際は、弊社営業店までお問い合わせ下さい。

ニッタン株式会社

TN50451

取扱説明書

日本消防検定協会　鑑定合格品

外 部 試 験 器

（FTF014）

警告	修理技術者以外の人は分解したり、修理・改造はしないでください。故障の原因になります。

注意	ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みください。また、本文中にでてくる注意事項を注意深く読み、よく理解してご使用ください。

・この取扱説明書は、商品を使用される場合に携帯してください。
・この商品は、校正が法的に義務づけられていますので、必ず定期的に校正を行ってください。

NOHMI

仕様

仕様内容を下表に示します。なお、仕様・外観等は品質改良のため、予告なく変更することがあります。

種　別	外部試験器
型　名	FTF014
電　源	DC 6V（単3形アルカリ乾電池4本　または付属のACアダプタ）
外観寸法	182mm ×110mm ×44mm
使用温度範囲	0℃～40℃
材　質	ポリカーボネート系樹脂
重　量	約500 g
型式番号	鑑外第9～2号

NOHMI 能美防災株式会社

本社　〒102-8277　東京都千代田区九段南4-7-3
TEL (03)3265-0211（大代表）

支社

東京	(03)3265-0211	CS本部	(03)3378-1411
北海道	(011)746-6911	東北	(022)221-2695
茨城	(0292)25-2600	北関東	(048)642-0147
千葉	(043)266-0303	西関東	(0426)27-4930
横浜	(045)682-4700	静岡	(054)247-3211
名古屋	(052)915-2411	金沢	(076)252-6211
大阪	(06) 330-8661	神戸	(078)334-3581
広島	(082)263-7333	九州	(092)712-1560
熊本	(096)360-1051		

商品の概要

・この外部試験器は、日本消防検定協会の試験に合格した鑑定品です。
・この商品は、共同住宅等（消防予第220号）に係わる消防用設備の遠隔試験に使用する試験器です。中継器（FRM013等）に、付属の接続ケーブルを接続し、感知器の遠隔試験が行えます。
・アドレス設定ケーブルを接続し、感知器のアドレス設定ができます。
・電池（単3形アルカリ乾電池4本）または付属の専用ACアダプタが使用できます。
・それぞれの機能には、下記のモードがあります。

使用上のご注意

・この商品は、共同住宅等に係わる消防設備の遠隔試験に使用しますので、他の用途には使用しないでください。
・付属の専用ACアダプタの未接続や電池切れの場合は、使用できません。
・電池をセットした状態で長期間放置しますと電池寿命が短くなりますので使用しない時は電池を外して保管してください。
・衝撃、振動は故障の原因になりますのでご注意ください。
・雨・水のかかる場所、湿度・水蒸気の発生する場所での保管や使用は避けてください。
・この商品は、精密に調整されていますので、分解、改造等をしないでください。
・この商品のコネクタ部分やすき間に、金属類やほこり等が入らないようにしてください。
・電池交換灯が点灯した場合は、電池の交換を行ってください。また、電池を入れた状態で電源が入らない場合も電池の交換を行ってください。

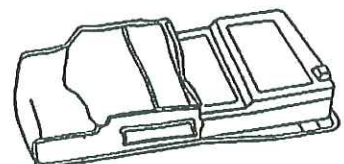
注意	電池の十・一の向きを間違えますと外部試験器を破損することがあります。必ず、電池の向きを確認してから交換し、電源を入れるようにしてください。

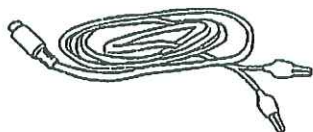
保管場所

・外部試験器、付属の専用ケーブルおよび付属の専用ACアダプタは、専用のソフトケースにいれて保管してください。
・周囲温度が0℃～40℃の範囲で保管してください。
・落下や振動等の衝撃がかからない場所で保管してください。
・高温多湿やゴミ・ほこりのある環境は避けて保管してください。

注意	落下や振動等の衝撃をかけますと故障の原因になります。ゴミ・ほこりが外部試験器の内部に入りますと故障の原因になります。

商品のご確認

次のものが揃っていることを確認してください。

・外部試験器本体（ソフトケース付）　1個

・接続ケーブル　（TPX4306-010100）　1本

・アドレス設定ケーブル　1本

・ACアダプタ（ソフトケース、バンド付）　▽ 91-46708　1個

・単3形アルカリ乾電池　4本

電池の入れ方

文章中の①⑫⑬は、右図の【各部の名称とはたらき】の名称を示します。

1．電池収納部蓋⑬をスライドさせて、本体から外してください。
2．単3形アルカリ乾電池4本を電池収納部⑫の底に表示されている＋、－と同じ向きに収納してください。
3．電池収納後は、電池収納部の蓋⑬を元通りに取付けてください。

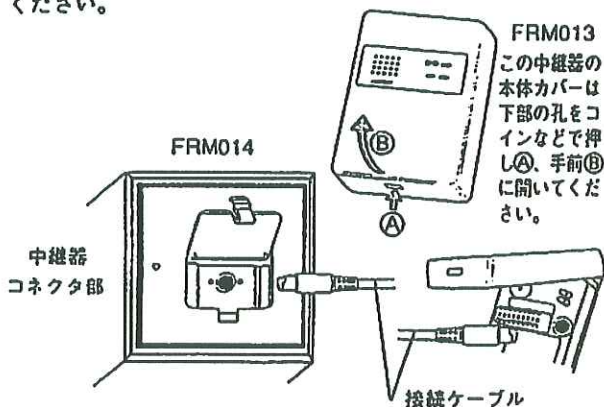
注意

電池とACアダプタを併用する場合は、ACアダプタからの電源供給になります。
ACアダプタを外部試験器のDCジャック①に接続した状態でコンセント側が未接続の場合は、電池が収納されていても使用できません。

接続方法

文章中の①②は、右図の【各部の名称とはたらき】の名称を示します。

【ACアダプタとの接続】
ACアダプタとの接続は、外部試験器のDCジャック①にACアダプタのジャックを根元まで差込んでください。さらに、ACアダプタのコンセント側をAC100Vのコンセントに根元まで差込んでください。

【中継器との接続】
中継器との接続は、付属の接続ケーブルのどちらか一方を外部試験器のコネクタ②に差込み、もう一方を中継器のコネクタに差込んでください。

注意

中継器との接続およびACアダプタとの接続には、必ず付属のケーブルおよびACアダプタを使用してください。
付属品以外のものを使用しますと故障の原因になります。

電池の交換

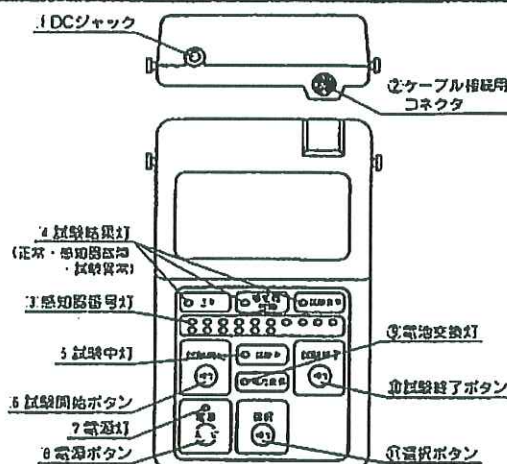
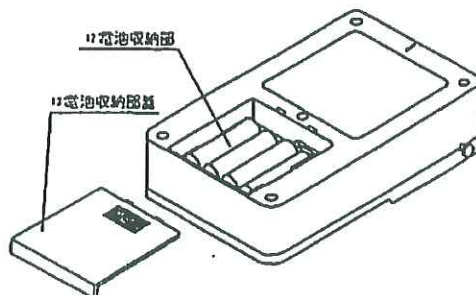
注意

電池の寿命が近づきますと、電池交換灯が点灯します。点灯が始まりましたら新しい電池と交換してください。
交換しませんと正常に動作しなくなります。

・寿命の切れた電池を入れたままにしますと、液漏れが発生し故障の原因になります。
・電池交換の際は、外部試験器の電源を切ってから交換してください。ACアダプタと接続している場合は、ACアダプタのDCジャックおよびコンセントを抜いてから交換してください。
・4本とも新しい単3形アルカリ乾電池と交換してください。なお、マンガン乾電池を使用しますと電池の寿命が短くなりますので使用しないでください。

注意

電池の＋・－の向きを間違えますと外部試験器を破損することがあります。
必ず、電池の向きを確認してから交換し、電源を入れるようにしてください。

各部の名称とはたらき

①DCジャック　：ACアダプタとの接続ジャック
②コネクタ　：接続ケーブル、アドレス設定ケーブル用コネクタ
③感知器番号灯　：試験の結果、感知器が正常時点灯、異常・故障時点滅
④結果灯　：各種試験結果を表示（点灯のみではない）
⑤試験中灯　：各種試験中に点灯
⑥試験開始ボタン：各種試験を開始するボタン
⑦電源灯　：電源ON時点灯、電源OFF時消灯
⑧電源ボタン　：電源ON/OFFボタン
⑨電池交換灯　：電池容量低下時点灯
⑩試験終了ボタン：各種試験を終了するボタン
⑪選択ボタン　：試験モード・特定感知器を選択するボタン
⑫電池収納部　：電池を収納する部分
⑬電池収納部蓋　：電池収納部の蓋

試験方法

【遠隔試験モード】

①外部試験器と中継器を接続ケーブルで接続してください。

②外部試験器の電源を入れてください。<外部試験器の電源ボタンを1秒程度押し続ける>⇒ブザー（ピッ）が鳴り電源灯が点灯します。

＊この状態で試験機能の遠隔試験モードになっています。
⇒感知器番号灯1が点滅します。

＊ここで選択ボタンを押すと、押す毎にブザー（ピッ）が鳴り感知器番号灯の点滅が→1→2→3→とかわり他のモードを選択することができます。1は遠隔試験モード、2は感知器特定モード1、3は感知器特定モード2の表示です。

③上記の方法で感知器番号灯1を点滅させます。

④試験開始<試験開始ボタンを押す>
⇒ブザー（ピッ）が鳴り試験中灯が点灯します。

＊接続感知器が全て正常でアドレスの設定が規定通りであれば試験は1サイクルで終了しますが、この条件が満たされていないときは最大2サイクルのリトライがかかります。⇒リトライ試験中は試験異常灯が点灯

⑤結果表示
⇒試験が終了するとブザー（ピッピッ）が鳴り結果が表示されます。
試験結果は下表3つの試験結果灯及び感知器番号灯により接続感知器の状態が分かります。感知器番号灯は機能及びアドレスが正常な感知器については点灯します。故障感知器または抜けているアドレスについては感知器故障灯と同期して点滅します。アドレスの設定が間違った感知器については試験異常灯と同期して点滅します。

正常灯点滅時	接続感知器が全て正常で且つアドレスが正しく設定されています。
感知器故障灯点滅時	接続感知器中に故障感知器があります。またはアドレスの抜けがあります。
試験異常灯点滅時	感知器の最終アドレス設定に誤りがあります。

⑥試験終了<試験終了ボタンを押す>
⇒ブザー（ピッ）が鳴り感知器番号灯1が点滅します。

⑦電源を切る<電源ボタンを押す>

【感知器特定モード1】

このモードは感知器の確認灯をアドレス1から順に目視可能な時間点灯させる動作を繰り返し行います。
このモードを開始すると外部試験器は最初に点検モードを実行します。その後アドレス1から順に確認灯を点灯させる動作を行いますが、これは遠隔試験モードの試験結果に基づいて行われ故障感知器の確認灯は点灯しません。この動作は試験終了ボタンが押されるまで繰り返し行います。確認灯未点灯の感知器を見つけることにより故障感知器の特定ができます。

①遠隔試験モードと同様の操作で感知器番号灯2を点滅させます。

②試験開始<試験開始ボタンを押す>
⇒ブザー（ピッ）が鳴り試験中灯が点灯します。

③試験終了<試験終了ボタンを押す>
⇒ブザー（ピッ）が鳴り感知器番号灯1が点滅されます。

【感知器特定モード2】

このモードは外部試験器で選択したアドレスの感知器の確認灯を目視可能な時間点灯させる動作を繰り返し行います。
このモードも最初に遠隔試験モードを実行し、確認灯の点灯はその結果に基づいて行われます。この動作は試験終了ボタンが押されるまで繰り返し行います。これにより特定の感知器（選択したアドレスの感知器）を見つけることができます。

①遠隔試験モードと同様の操作で感知器番号灯3を点滅させます。

②モード確定<試験開始ボタンを押す>
⇒ブザー（ピッ）が鳴り感知器番号灯1が点灯します。

③アドレス選択
選択ボタンを押す毎にブザー（ピッ）が鳴り、表示灯の点灯が→1→2→3→……→16→とかわり任意のアドレスが選択できます。

④試験開始<試験開始ボタンを押す>
⇒ブザー（ピッ）が鳴り試験中灯が点灯します。

⑤試験終了<試験終了ボタンを押す>
⇒ブザー（ピッ）が鳴り感知器番号灯1が点滅します。

アドレス確認、設定方法

● アドレス確認、設定を行う前に、
・アドレス確認、設定は必ず1個ずつ行ってください。
・アドレスは必ず1から連番で設定し、終端アドレスを必ず1台設定してください。
アドレスは抜け、重複のないように設定してください。

【アドレス確認モード】

①外部試験器と感知器をアドレス設定ケーブルで接続してください。（赤線をL、青線をCに接続してください。）

②外部試験器の電源を入れてください。
設定ケーブルを接続し、試験開始ボタンを押しながら電源ボタンを押します。

＊この状態でアドレス確認・設定機能のアドレス確認モードになっています。⇒感知器番号灯1が点滅します。

＊ここで選択ボタンを押すと、押す毎にブザー（ピッ）が鳴り感知器番号灯の点滅が→1→2→3→とかわり任意のモードを選択することができます。1はアドレス確認モード、2は通常アドレス設定モード、3は最終アドレス設定モードの表示です。

③上記の方法で感知器番号灯1を点滅させます。

④アドレス確認<試験開始ボタンを押す>
⇒ブザー（ピッ）が鳴り試験中灯が点灯します。
＊この操作でアドレス確認が実行されます。

⑤確認結果表示
⇒確認が終了するとブザー（ピッピッ）が鳴り結果が表示されます。確認動作が正常に行われると正常灯が点滅します。確認動作ができない場合試験異常灯が点灯します。アドレスは感知器番号灯で表示されます。
・感知器番号灯が点滅→感知器アドレスが通常アドレス
・感知器番号灯が点灯→感知器アドレスが終端アドレス

⑥確認終了<試験終了ボタンを押す>
⇒ブザー（ピッ）が鳴り感知器番号灯1が点滅されます。

【アドレス設定モード】(通常アドレス及び終端アドレス)

①アドレス確認モードと同様の操作で外部試験器の電源を入れ、感知器番号灯1を点滅表示させてください。

②モード選択<選択ボタンを押す>
・通常アドレス設定時→感知器番号灯2を点滅させてください。
・終端アドレス設定時→感知器番号灯3を点滅させてください。

③モード確定<試験開始ボタンを押す>

⇒ブザー（ピッ）が鳴り感知器番号灯1が点滅します。
④設定アドレス選択
選択ボタンを押す毎にブザー（ピッ）が鳴り、感知器番号灯の点滅が「→1→2→3→……→16」とかわり任意のアドレスが選択できます。
⑤設定開始<試験開始ボタンを押す>
⇒ブザー（ピッ）が鳴り試験中灯が点灯します。
＊この操作でアドレス設定が実行されます。
⑥設定結果表示
⇒設定が終了するとブザー（ピッピッ）が鳴り設定結果が表示されます。
設定動作が正常に行われると正常灯が点滅します。設定動作ができない場合試験異常灯が点灯します。設定アドレスは感知器番号灯で表示されます。
・通常アドレスの場合→設定されたアドレスに対応した感知器番号灯が点滅
・終端アドレスの場合→設定されたアドレスに対応した感知器番号灯が点灯
⑦設定モード終了<試験終了ボタンを押す>
⇒ブザー（ピッ）が鳴り感知器番号灯1が点滅されます。

【その他の機能】

●点検機能実行中の実火災検出

本システムに接続される感知器は、点検機能（遠隔試験モード、感知器特定モード1、感知器特定モード2）実行中においても火災監視を行っております。感知器が火災を検出し火災信号を送出した場合、外部試験器は直ちに点検機能を中断し感知器の火災信号を受信機に送ります。この時、試験器は試験結果灯がすべて点灯します。

試験終了後は外部試験器の電源を切り、接続したケーブル、ACアダプタを外しソフトケースに収納してください。

注意
試験中に感知器が作動した場合または電池電圧が不足した場合は、強制的に試験が中断します。
電源を入れた後に、約5分の間にボタン操作されない場合は、強制的に電源が切れます。

定期点検のお願い

・外部試験器は、5年に1度の校正が義務付けられています。
・消防庁予防課長通知平成8年5月24日消防予第105号による外部試験器の基準により、校正を行ってください。

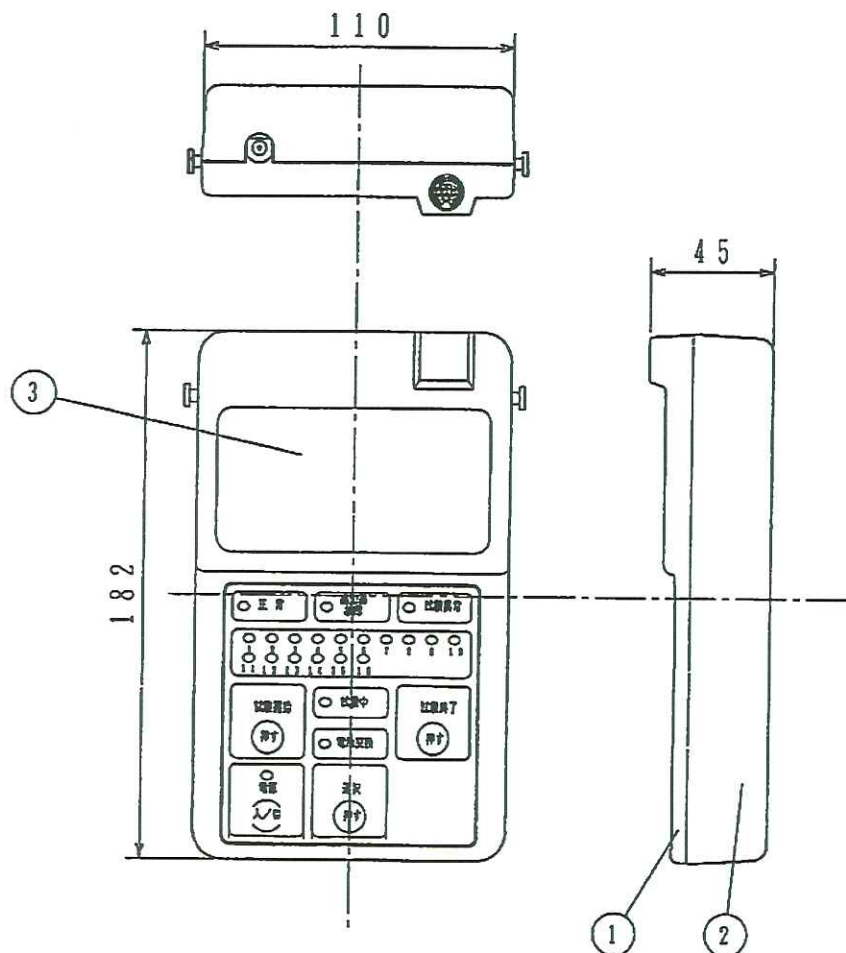
注意
外部試験器は、期間内の校正済証が付いているものを使用してください。
期間内の校正証が付いていないもので試験を行った場合は、試験成績が認められません。

・本体の汚れは、化学ぞうきんや中性洗剤に浸して十分に絞った布で拭き取ってください。

注意
外部試験器は、防水構造ではありませんので水洗いしないでください。
ベンジンやシンナー等の薬品を使用してのお手入れは故障の原因になります。

・ご不明な点がございましたら、当社までご連絡ください。

故障かな？と思ったら

症　状	原　因	対処方法
電源が入らない	・電池は入っていますか？ ・電池の寿命がきていませんか？	・新しい単3形アルカリ乾電池4本を入れてください。
	・電池の向きは合っていますか？	・電池収納部の底に表示されている＋、－を確認して電池を入れてください。
	・ACアダプタはきちんと接続されていますか？	・DCジャックおよびコンセントの差込み具合を確認してください。
	・ヒューズは切れていませんか？	・電池収納部の上のヒューズを交換してください。（0.5A）
電源は入るがアドレス設定ができない	・設定ケーブルを接続してから電源を入れましたか？	・設定ケーブルを接続してから電源を入れてください。
	・試験開始ボタンを押しながら電源ボタンを押しましたか？	・試験開始ボタンを押しながら電源ボタンを押してください。
感知器は正常なのに感知器故障になる	・アドレスの抜けはありませんか？	・アドレスを連番で設定してください。
感知器は接続されているのに試験異常になる	・中継器と接続する専用の付属ケーブルは接続されていますか？	・付属の専用ケーブルの接続具合を確認してください。
	・住戸用受信機の電源は入っていますか？	・住戸内の受信機の電源を確認してください。
	・感知器の配線は合っていますか？ ・配線の断線はありませんか？	・接続されている感知器の配線を確認してください。
	・アドレス設定は正しいですか？	・アドレスを設定し直してください。

仕様
(1) 種別；外部試験器（共同住宅用）
(2) 鑑定番号；鑑外9～2号
(3) 定格電圧；6V（4.6～6.6V）
1.5V単3アルカリ電池（LR6）×4本または
ACアダプタ使用
(4) 消費電流；350mA
(5) 主材；ポリカーボネート系樹脂
(6) 重量；約500g

FTF014型

外部試験器（共同住宅用）

外観図

発行	技術部管理課	縮尺	／
図番	FTF6055		0

能美防災株式会社

番号	種別	番号	種別	番号	種別	番号	種別
1	本体	3	取扱銘板	5		7	
2	ケース	4		6		8	

外部試験器　取扱説明書

【 商品記号：ＴＳＯ—Ｂ０６】

●この取扱説明書は本外部試験器を正しくご使用頂くための注意事項や、基本的な取扱方法、操作手順などを説明しております。
●取扱説明書を最後までよくお読みになり、内容を十分に理解されてから製品をご使用下さい。
●また、この取扱説明書はいつも手元においてご使用下さい。
●この取扱説明書では本製品を正しくお使い頂く為や、お客様や他の皆様への危害、及び財産の損害を未然に防ぐためにいろいろな絵表示をしています。
その絵表示と意味は次のようになっていますので、内容をよく理解されてから本文をお読み下さい。

表示	意味
⚠注 意	・この表示を無視して、誤った取扱いをすると、使用者が障害を負うか、防災機能に悪影響を及ぼすことが想定される場合を表しています。
🛇	・「禁止」を表しています。
❗	・「必ず行う」を示しています。

●この商品は、「自動火災報知設備の遠隔試験機能に係る外部試験器の取扱について（消防庁予防課長通知　平成8年 5月24日 消防予第105号）」に基づく日本消防検定協会の鑑定において型式承認されたものです。
●この商品を用いる点検作業には消防設備士（甲種第4類・乙種第4類）又は、消防設備点検資格第2種の資格が必要です。

1 概要

・この外部試験器は、専用中継器に接続してご使用いただくことにより、住戸外から住戸内の感知器及びＧＰ型３級受信機の動作を試験することができます。試験が完了すると、正常又は異常の試験結果と異常の感知器番号が表示されます。
・共同住宅においては、居住者が不在の場合も試験ができます。
・この商品には、電池（付属の単３形アルカリ乾電池4本）又は、ＡＣアダプタ（オプション品）をご使用下さい。

2 各部の名称と機能

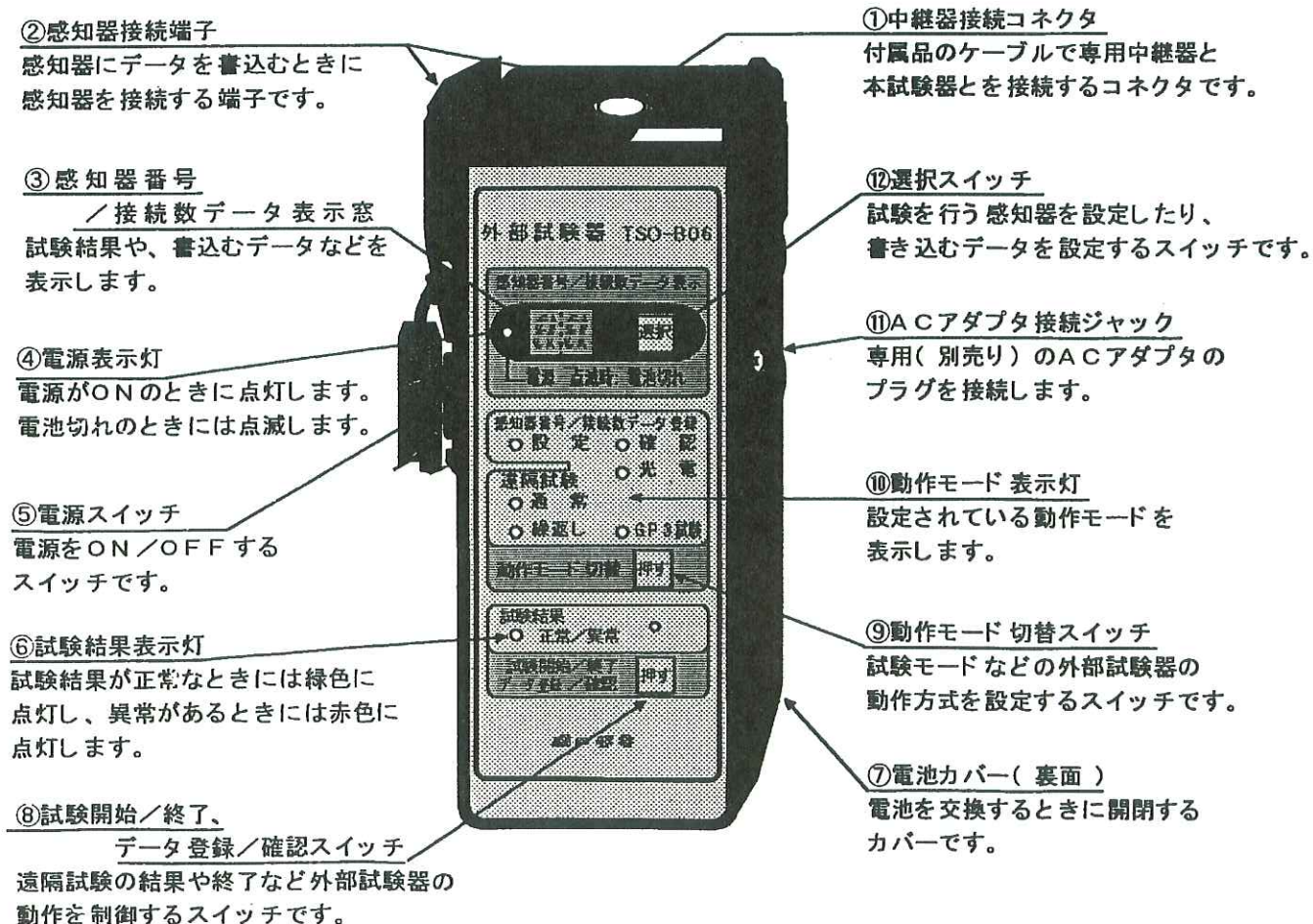



図１　各部の名称

3 使用上のご注意

⚠注 意

・電池は火に投入したり、ショートさせないでください。爆発、火災になるおそれがあります。
・アルカリ乾電池と他の種類の電池の混合使用はしないで下さい。
・ぬれた手で外部試験器をさわったり、水をかけないで下さい。故障の原因になります。
・機器を分解したり、修理・改造しないで下さい。また、落下等の大きな衝撃を与えないで下さい。
故障の原因になります。

・この試験器は、5年毎に校正を行って下さい。校正品には日本消防検定協会より校正済証が貼付されます。
（校正は、弊社営業所へお申しつけ下さい。）
・電池は極性に注意して正しく本体に入れて下さい。（ 図２参照 ）
・長期間使用しないときは、電池を取り外して保管して下さい。液漏れによる故障の恐れがあります。
・新しい電池に交換する時は、全て交換して下さい。
・ご使用前にパネル表面の保護シールをはがして下さい。貼ったままでは表示が見にくくなります。

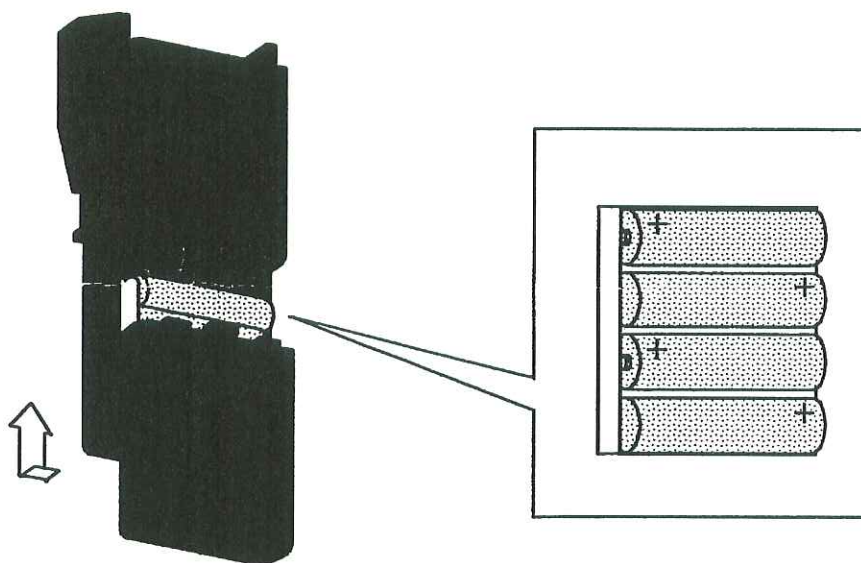



図２　電池カバーの取り付け方　及び　電池の入れ方

4 住棟受信機のある設備で試験する場合のご注意

⚠注 意

・GP型3級（又はP型3級）受信機の火災信号が移報設定されているか住棟受信機を確認して下さい。
試験中に隣接住戸に警報音が発せられることがあります。
・地区音響を鳴動させないで試験をするときは、住棟受信機を試験復旧、地区音響完全停止、及び移報停止になるよう操作して下さい。
・試験時に住棟受信機の状態を変更したときには、全て試験が終了した後に必ず正常監視状態になるよう元に戻して下さい。

5 火災感知器の試験方法

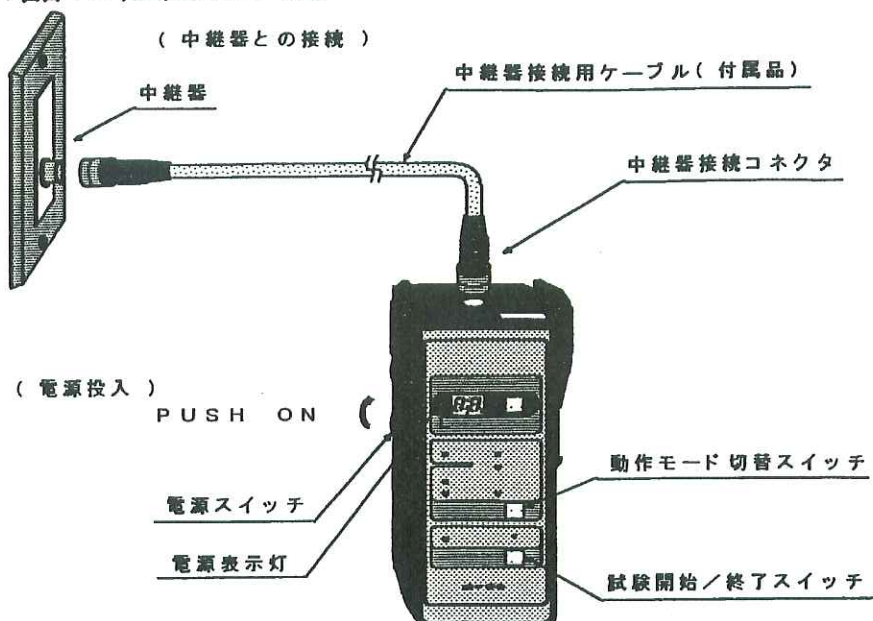



図３　外部試験器と中継器の接続 及び 電源投入

・指定以外の中継器に接続しないで下さい。故障の原因になります。

・接続ケーブルを取扱う場合は、コネクタ部を持って作業して下さい。ケーブル部分に強い力が加わるとコネクタ部の破損や、ケーブル断線のおそれがあります。

１．付属の中継器接続ケーブルで、試験器の中継器接続コネクタ①と中継器のコネクタ⑭とを確実に接続します。

２．電源スイッチ⑤をONにします。
　・電源表示灯④（緑）が点灯します。
　・「通常」モードを示す動作モード表示灯⑩（赤）が点灯します。
　・動作モードは「通常」に初期設定されています。

３．動作モード切替スイッチ⑨を押して、遠隔試験を行う動作モードを設定します。
　・動作モードは切替スイッチを押す毎にモードが替わります。

→「通常」→「繰返し」→「ＧＰ３」（→「通常」へ戻る）

A)「通常」試験モード
　・全ての火災感知器の試験を１回行います。
　・試験結果の表示を消したい（通常試験を終了させたい）場合や他の試験モードへ移行したい場合は試験開始／終了スイッチ⑧を押してください。

B)「繰返し」試験モード
　・全ての火災感知器の試験を繰返し行います。
　・繰返し試験を終了させたい場合は試験開始／終了スイッチ⑧を押して下さい 。他の試験モードに移行することができます。

C)「ＧＰ３」試験モード
　・このモードでは感知器の遠隔試験は行われませんが、GP型3級受信機から住棟受信機への移報動作と戸外表示器の警報動作の確認ができます。感知器試験結果が異常の場合に使用します。
　・試験終了後に他の試験モードに移行したい場合は試験開始／終了スイッチ⑧を押して下さい。
　「通常」試験モードへもどり、他の試験モードに移行できるようになります。

４．試験開始／終了スイッチ⑧を押して遠隔試験を行います。

6 試験結果の表示

1．「通常」試験モード

(1)全ての感知器が正常な場合

・試験結果表示灯⑥に正常（緑色点灯）が表示されます。
・感知器番号／接続数データ表示③に最終感知器番号が表示されます。
・戸外表示器の警報表示灯が点滅し、この表示器から警報音と火災メッセージが３回出力されます。

(2)異常な感知器がある場合

・試験結果表示灯⑥に異常（赤色点灯）が表示されます。
・感知器番号／接続数データ表示③に
最終感知器番号　→　エラーコード　→　異常が検出された感知器の番号
の順で表示されます。
・その後、エラーコードと異常が検出された感知器の番号が交互に表示されます。

2．「繰返し」試験モード

(1)全ての感知器が正常な場合

・試験結果表示灯⑥に正常（緑色点灯）が表示されます。
・感知器番号／接続数データ表示③に最終感知器番号が表示されます。
・戸外表示器の警報表示灯が点滅し、この表示器から警報音が出力されます。
・再び試験を開始します。

(2)異常な感知器がある場合

・試験結果表示灯⑥に異常（赤色点灯）が表示されます。
・感知器番号／接続数データ表示③に
最終感知器番号　→　エラーコード　→　異常が検出された感知器
の番号の順で表示されます。
・その後、エラーコードと異常が検出された感知器の番号が交互に表示されます。
・再び試験を開始します。

3．「GP3試験」モード

・GP型3級受信機が正常であれば戸外表示器の警報表示灯が点滅し、この表示器から火災メッセージが１回出力されます。
・異常がある場合は戸外表示器から何も出力されません。

★　試験結果が正常とならないとき

《エラーコードとその障害内容》

E１ ⇔ 異常感知器番号 （交互に表示）	・E１の後に表示する感知器番号が重複しています。 （　同じ感知器番号が重複しないようにして下さい。）
E２ ⇔ 異常感知器番号 （交互に表示）	・接続数データより少ない番号で異常が発生したか、感知器が接続されていません。 （　E２の後に表示された感知器番号を確認して、不良感知器を正常な感知器と交換するか、または新たに取付けて下さい。）
E３ ⇔ 異常感知器番号 （交互に表示）	・接続数データより多く感知器（表示番号）が接続されているか、接続数データが間違っています。 （　感知器接続数の確認と、E３の後に表示する接続数データの確認をして下さい。 （　感知器番号１番の接続数データを訂正して下さい。）
E４ ⇔ 異常感知器番号 （交互に表示）	・感知器１番の接続数データに異常があります。 （　感知器番号１番の接続数データを確認し、訂正して下さい。複数の感知器で同一障害が発生した場合には上記「E」が「A」の表示に変わります。）

《その他の表示と障害》

L１	・感知器信号線が短絡しています。 （　終端抵抗の接続状態や、配線の破損等を調べて下さい。）
FF	・試験中に実火災信号を受信しています。 （　火災通報等、適切な処置を行って下さい。）

7 付属機能

7－1 感知器の個別試験

任意の感知器を指定し、遠隔試験を行うことができます。

・「繰返し」試験モードに設定します。

・選択スイッチ⑫を押します。
　感知器番号／接続数データ表示③が点灯します。

・選択スイッチ⑫を押して感知器番号／接続数データ
　表示③を個別に試験する感知器番号にあわせます。

・試験開始／終了スイッチ⑧を押します。

・感知器番号／接続数データ表示③と試験結果
　表示灯⑥とが点滅します。

・感知器が正常なときには結果表示灯⑥は緑色点滅、
　異常なときには赤色点滅をします。

図4　外部試験器と感知器の接続

7－2 感知器へのデータ書込

⚠注意

・感知器を接続するときは、中継器接続ケーブルを接続しないで下さい。
・感知器を接続するときは、感知器接続端子に無理な力を加えないで下さい。

・光電式煙感知器にデータを書込む場合は、電源投入時にデータ登録／確認スイッチ⑧と動作モード切替スイッチ⑨を押しながら電源を入れて下さい。「光電」モードを示す動作表示灯⑩（赤）が点灯します。光電式煙感知器をこのモード以外で書込むと正常な書込がされません。

感知器に接続数データ及び感知器番号を書込むことができます。
・感知器の種類により操作方法が異なりますので注意して下さい。

1．外部試験器の感知器接続端子にデータを書込む感知器を取り付けて下さい。（図4 参照）
・感知器を接続するときは中継器接続ケーブル⑬を取り外し、各接続端子②に感知器⑮を確実に嵌合させて下さい。

2．電源スイッチ⑤をONします。
・電源表示灯④（緑）と、「設定」モードを示す動作モード表示灯⑩（赤）が点灯します。
・動作モードは「設定」に初期設定されます。

3．選択スイッチ⑫を押して感知器番号を設定します。
(1)感知器番号を１番に設定した場合
・データ登録／確認スイッチ⑧を押して感知器番号／接続数データ表示③を点滅させます。
・選択スイッチ⑫を押して接続数データを設定します。
　（※接続数とは１番の感知器を含む、中継器に接続される全感知器数です。）
・再びデータ登録／確認スイッチ⑧を押してデータ書込みを開始させます。
(2)感知器番号を２番以降に設定した場合
・データ登録／確認スイッチ⑧を押してデータ書込みを開始させます。

4．書込みが終了すると試験結果表示灯⑥が点灯します。
(1)試験結果表示灯⑥が緑色表示になったとき（正常にデータが書込まれたとき）
・感知器番号が１番のとき、感知器番号／接続数データ表示③に感知器番号と接続数データとが交互に表示されます。
・その後、感知器番号が表示されます。感知器番号が２番以降のときは感知器番号が表示されます。
(2)試験結果表示灯⑥が赤色表示になったとき（データ書込みに異常があったとき）
・感知器番号／接続数データ表示③に「E」が表示されます。
　再びデータを書込むか、感知器の接続状態に異常がないか調べて下さい。

5．感知器番号シールの貼付け　（図5　参照）
・感知器番号書込後、感知器梱包箱に同封されている番号シールを感知器本体または、ベースの見やすい位置に貼付けて下さい。
・感知器番号１番の時はシール空スペースに接続数を貼付又は記入して下さい。
（※接続数とは１番の感知器を含む、中継器に接続される全感知器数です。）

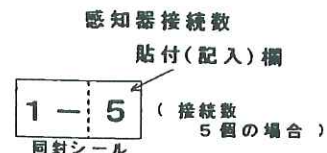



図5　感知器番号１のシール例

7－3　感知器に書込んだデータ及び試験機能の確認

⚠注意

・感知器を接続するときは、中継器接続ケーブルを接続しないで下さい。

・光電式煙感知器のデータを確認する場合は、電源投入時にデータ登録／確認スイッチ⑧と動作モード切替スイッチ⑨を押しながら電源を入れて下さい。「光電」モードを示す動作表示灯⑩（赤）が点灯します。光電式煙感知器をこのモード以外で確認すると、正常な判定がされません。

感知器に書込んであるデータを確認し、同時に試験機能を確認することができます。
・感知器の種類により操作方法が異なりますので注意して下さい。

1．外部試験器に接続数データを確認する感知器を取り付けて下さい。
・このとき中継器接続ケーブル⑬は接続しないで下さい。

2．電源スイッチ⑤をONします。
・電源表示灯④（緑）が点灯し、「設定」モードを示す動作モード表示灯⑩（赤）が点灯します。
・動作モードは「設定」に初期設定されます。

3．動作モード切替スイッチ⑨を押して「確認」モードにして下さい。

4．データ登録／確認スイッチ⑧を押して下さい。
・書込まれているデータを確認し、同時に試験機能を確認します。

5．試験結果表示灯⑥が点灯します。
(1)試験結果表示灯⑥が緑色表示になったとき（データの書込みと試験機能が正常のとき）
・感知器番号が１番のときは、感知器番号／接続数データ表示③に感知器番号と接続数データとが交互に表示されます。
・その後、感知器番号が表示されます。感知器番号が２番以降のときは感知器番号が表示されます。
(2)試験結果表示灯⑥が赤色表示になったとき（データ書込み、または試験機能に異常があったとき）
・感知器番号／接続数データ表示③に「E」が表示されます。
再びデータの確認を行うか、感知器の接続状態に異常がないか調べて下さい。

8 ACアダプタを使用するとき

⚠注意

・指定のACアダプタ以外は使用しないで下さい。故障の原因になります。

・指定のACアダプタを使用するときは、AC100Vコンセントに接続して下さい。AC100V以外の電圧で使用すると機器が破損する場合があります。
・ACアダプタのDCプラグは外部試験器のACアダプタ接続ジャック⑪にしっかりと接続して下さい。
・本器に充電機能はありません。

・ACアダプタが接続されているときには、電池が収納されていても電源はACアダプタから供給されます。

9 異常時の点検・処置

・異常あるいは故障と思われるときには、次のようにご確認頂き、適切な処置をお願い致します。

状態	要因	処置
・電源スイッチをONしても電源が入らない。	・電池が正しく装着されていない。	・電池の極性を正しく装着して下さい。
	・電池の電圧が低い。	・新しい電池と交換して下さい。
・ACアダプタを使用しているのに電源が入らない。	・指定のACアダプタでない。	・指定のACｱﾀﾞﾌﾟﾀを使用して下さい。
	・正しく接続されていない。	・接続を確認して下さい。
・電源表示灯が点滅している。	・電池の電圧が低い。	・新しい電池と交換して下さい。
・エラーコードEを表示している。	・データ書込みまたは試験機能確認時感知器が正しく接続されていない。	・感知器を正しく接続して下さい。
	・感知器のデータまたは試験機能に異常がある。	・感知器の接続を確認後、再び書込みまたは確認の操作を行って下さい。
・エラーコードＥ１を表示している。	・感知器番号が重複している。	・同じ感知器番号が重複しないようにして下さい。
・エラーコードＥ２を表示している。	・接続数データより少ない番号の感知器に異常がある。	・正常な感知器と交換するか、または未接続のときには新たに感知器を接続して下さい。
・エラーコードＥ３を表示している。	・接続数データより大きい番号の感知器に異常がある。	・感知器接続数の確認と、感知器番号１に書込まれた接続数データを訂正して下さい。
・エラーコードＥ４を表示している。	・接続数データに異常がある。	・感知器番号１に書込まれた接続数データを確認のうえ、訂正して下さい。
・エラーコードＡ１を表示している。	・エラーコードＥ１の障害をはじめ複数の障害が発生している。	・エラーコードＥ１の場合と同様に対処し、再び試験をして障害がなくなるまで試験と処置を繰り返して下さい。
・エラーコードＡ２を表示している。	・エラーコードＥ２の障害をはじめ複数の障害が発生している。	・エラーコードＥ２の場合と同様に対処し、再び試験をして障害がなくなるまで試験と処置を繰り返して下さい。
・エラーコードＡ３を表示している。	・エラーコードＥ３の障害をはじめ複数の障害が発生している。	・エラーコードＥ３の場合と同様に対処し、再び試験をして障害がなくなるまで試験と処置を繰り返して下さい。
・エラーコードＡ４を表示している。	・エラーコードＥ４の障害をはじめ複数の障害が発生している。	・エラーコードＥ４の場合と同様に対処し、再び試験をして障害がなくなるまで試験と処置を繰り返して下さい。
・Ｌ１が表示されている。	・Ｌ－Ｃ線間が短絡している。	・配線を確認して下さい。
・ＦＦが表示されている。	・感知器が発報している。	・現場を確認し、適切な処置を行って下さい。

※ エラーコード等については、6　試験結果の表示　★試験器が異常を表示したとき　を参照して下さい。

これらの処置を行っても修復しない場合は弊社営業所までご連絡下さい。

10 遠隔試験中に実火災が発生したとき

・外部試験器の感知器番号／接続数データ表示③に「ＦＦ」が点滅表示されブザーが鳴動します。
・試験状態は解除されます。GP型3級受信機から火災警報が出力されます。
・現場の確認をし、適切な処置をして下さい。
・外部試験器の火災警報をリセットするには試験開始／終了スイッチ⑧を押して下さい。

11 校　正

・校正は、外部試験器校正基準に基づき、５年毎に行って下さい。

・校正は弊社営業所にお申し付け下さい。有償にて承ります。
・校正品には日本消防検定協会より次期校正年月の記載された校正済証が貼付されます。

12 仕様

商品記号	TSO-B06
種別	外部試験器
型式番号	鑑外第９～１号
電池	単３形アルカリ乾電池　４個
ブザー音圧	50dB以上（１mにて）
接続対象機器	中継器（遠隔試験機能付）：CHR-2（中第９～105号） ※上記以外の機器を接続する場合は弊社営業所までお問い合せ下さい。
遠隔試験感知器数	１住戸あたり16個まで
使用温度範囲	0°Ｃ～+40°Ｃ
材質	ＡＢＳ樹脂
色彩	黒　色
寸法	170×84×40（mm）
質量	約350g（電池含む）
付属品	単３形アルカリ乾電池４個、収納ソフトケース 中継器接続ケーブル：約２m、
オプション品	ACアダプタ AP-1230N（入力：AC100V 50/60Hz 6VA 出力：DC12V 300mA）

法令で試験項目が定められています。また、点検および報告も義務づけられています。
維持・管理の充実のため最寄りの弊社営業所とご契約されることをお勧めします。

2-3-030-0644

ホーチキ株式会社
〒141-8660　東京都品川区上大崎 2-10-43　TEL 03(3444)4111（大代表）

1997.12.16

National

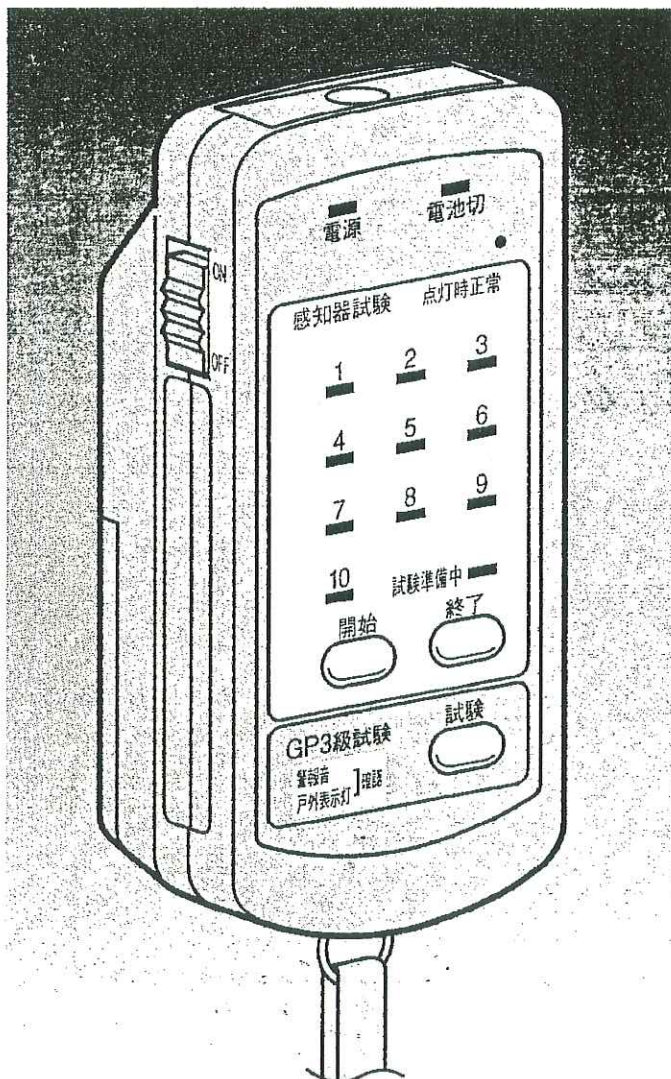
保管用

外部試験器

BGH 9703

取扱説明書

Ni-Cd
ニカド電池は
リサイクルへ

●お買い上げありがとうございます。
●ご使用まえに必ずお読みいただき大切に保管してください。

ご使用まえに

●この商品は、当社の遠隔試験対応感知器およびGP型3級受信機またはP型3級受信機などの試験をする機能を持っています。

●この商品で点検を行うには消防設備士（甲種第4類・乙種第4類）または消防設備点検資格第2種の資格が必要です。

●この商品には、電池（別売）が必要です。

（単2アルカリ乾電池（1.5V）×4コまたは単2ニカド電池（1.2V）×4コをお買い求めください。）

この商品をご使用になる皆様へ

安全に正しくお使いいただくために

この商品を正しくお使いいただくためや、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書には、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
 一般的な禁止	 必ず行う

安全上のご注意

●ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

⚠警 告

●電池は火に投入したり、ショートさせないでください。
爆発したり、やけど、火災になるおそれがあります。

使用上のご注意

- この試験器は、製造年月から起算して5年ごとに校正を受けることが必要です。
- 校正のときは、弊社営業所までお問い合わせください。
- ぬれた手で外部試験器をさわったり、水をかけないでください。故障の原因になります。
- 機器を分解したり、修理・改造しないでください。また落下させたり、衝撃を与えるような取り扱いはしないでください。故障の原因になります。
- 接続ケーブルを取り付けたり、はずしたりするときはコネクタ部を持って作業してください。ケーブル部を引っ張ったりするとコネクタ部の破損、ケーブルの断線が発生するおそれがあります。
- 接続ケーブルをはずしたままで、電源スイッチを「ON」側にすると、電源表示灯(緑)が点滅し、約30秒で消灯します。この状態でも電池は徐々に消耗していますので、必ず電源スイッチは「OFF」側にしてください。
- 電池の交換時は、必ず4コとも新しい電池と交換してください。
- アルカリ電池とニカド電池の混合使用はしないでください。
- 長期間、使用しないときは必ず電池を取りはずして保管してください。電池の漏液のおそれがあります。
- GP3級受信機試験は、必ず1住戸ごとに行ってください。

もくじ

1.各部のなまえとはたらき

付属品

- ●取扱説明書（本紙）………1冊
- ●中継器カバー用キー……2コ
- ●接続ケーブル（2m）…… 2本
- ●収納袋……………………1コ

2.お手入れ方法

■表面が汚れた場合は、次の方法でお手入れください。

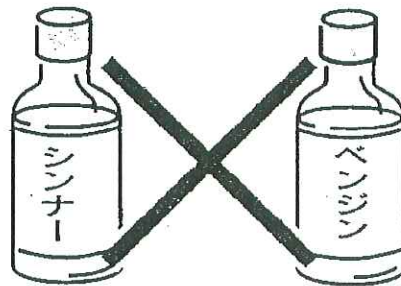
●ふだんのおそうじは…

やわらかい布でふき取ってください。

●汚れが目立つときは

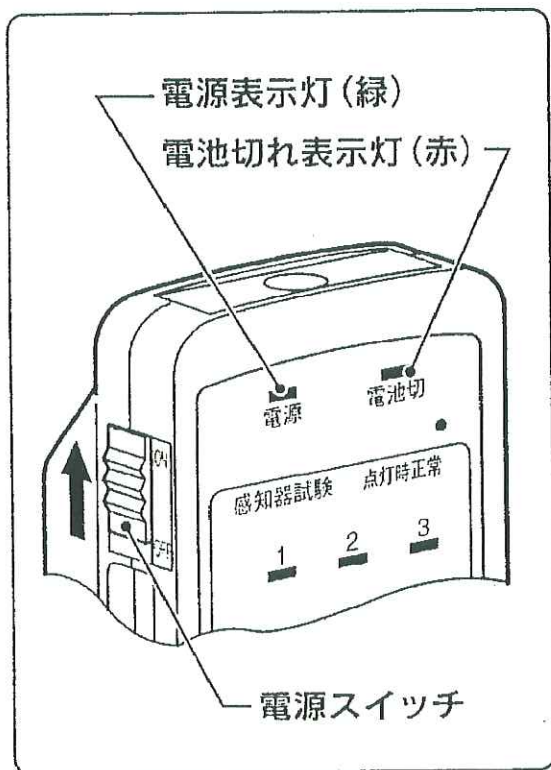
中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、
固く絞ってふき取ってください。

（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書にしたがってください。）

●ベンジンなどは引火性があるため危険ですので、使用しないでください。

3.電池について

お願い事項

●ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
ご使用済の電池は捨てないで、リサイクルへご協力ください。
●ニカド電池には寿命があります。
使用開始日から3〜5年をめやすに交換してください。

■電池の交換時期について

1 電源スイッチを「ON」側にする。

●電源表示灯が一度点灯してから
点灯または点滅します。
(遠隔試験中継器と接続していないときに点滅します。)

2 電池切れ表示灯が点灯または点滅します。

(遠隔試験中継器と接続していないときに点滅します。)

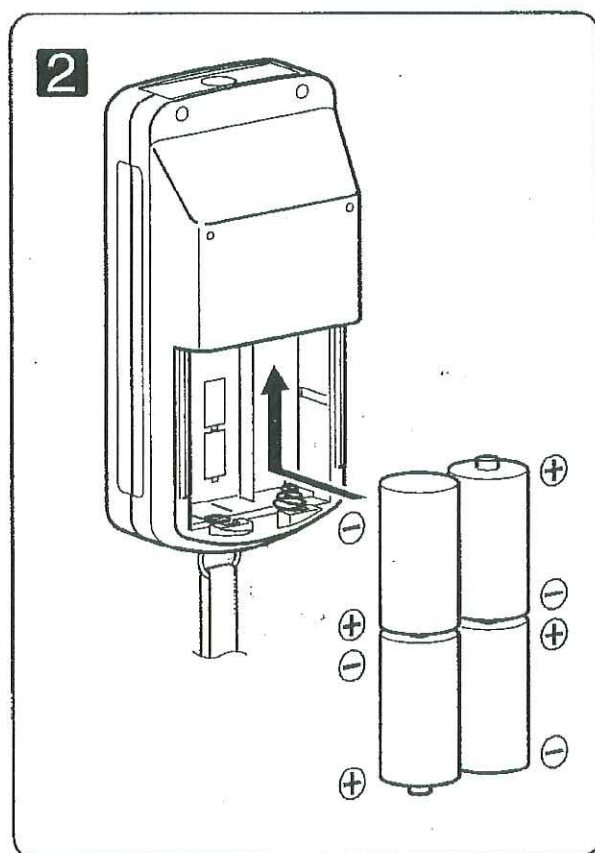
アルカリ電池の場合

●電池の寿命です。4コとも新しい単2アルカリ電池と交換してください。

ニカド電池の場合

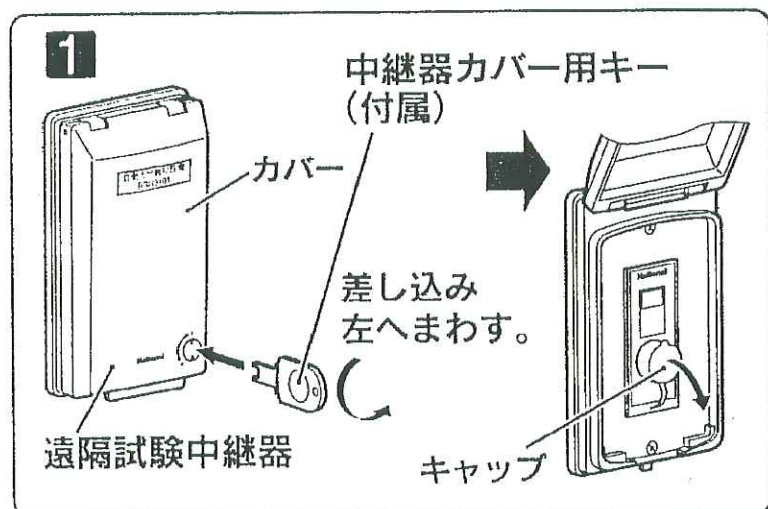
●電池の充電不足です。4コとも充電して、取り付けてください。充電しても、電池切れ表示灯が点灯または点滅する場合は、4コとも新しい単2ニカド電池と交換してください。

■電池の交換方法

1 電池カバーをはずす。

2 電池を取り付ける。

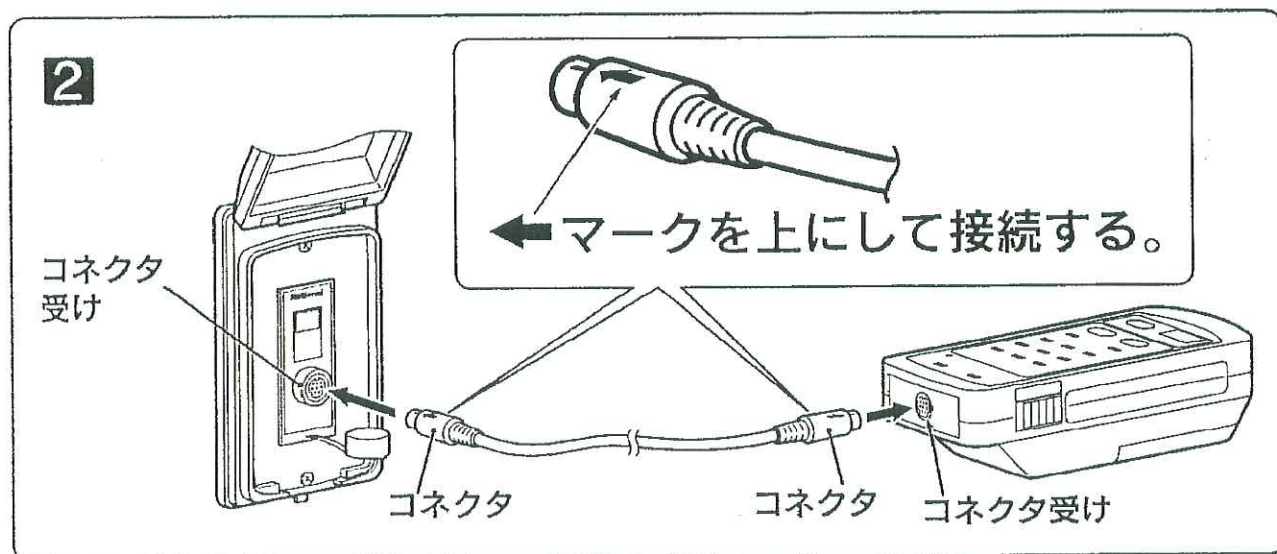
注 ●電池の⊕極、⊖極を間違わないようにしてください。

3 電池カバーを取り付ける。

4.火災感知器試験の方法

●この火災感知器試験は、室内に設置されている遠隔試験対応感知器の機能試験を自動的に行います。

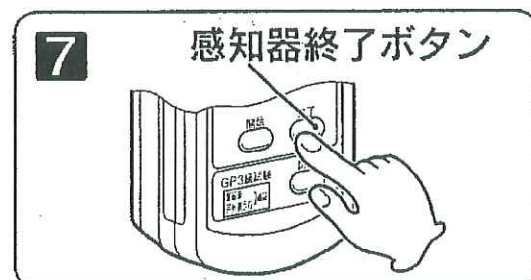
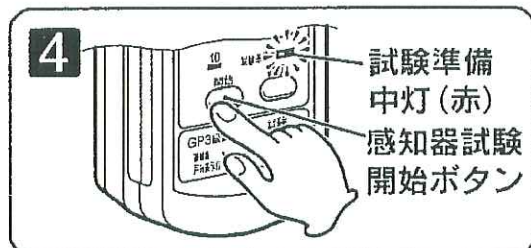
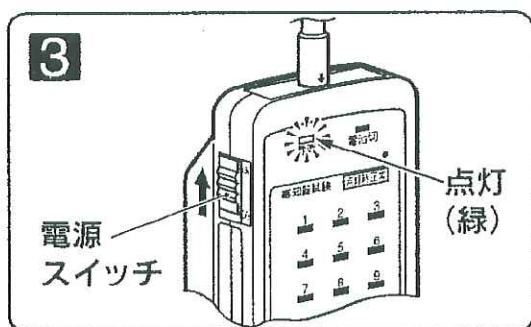
■外部試験器に電池を取り付けてください。(5ページ参照)

1 遠隔試験中継器のカバーを中継器カバー用キー(付属)であけ、キャップをはずす。

2 接続ケーブル(付属)を外部試験器と遠隔試験中継器に接続する。

3 電源スイッチを「ON」側にする。

●感知器アドレス表示灯1～10(赤)が約2秒間点滅し、ピー音が鳴り、電源表示灯(緑)が点灯します。

注 ●遠隔試験中継器に遠隔試験アダプタが接続されている場合は、外部試験器の電源スイッチを「ON」側にしている間、P型1級受信機に断線警報がでます。

3

煙感知器（遠隔試験機能付）が設置されている場合

●室内に電源が供給されていない場合でも感知器の試験は行えますが、ドアホン子器の位置表示灯（緑）が消灯している場合は、電源スイッチを「ON」側にしてから約20秒以上経過したあとで **4** の操作を行ってください。20秒たたずに **4** の操作を行うと火災感知器試験が正しく行えない場合があります。

4

4 感知器試験開始ボタンを押す。

●ピッ音が鳴り、試験準備中灯（赤）が、約3秒間点滅します。

5 接続されている感知器の試験をします。

●1つの感知器の試験が終了するごとにピー音が鳴ります。

6 注

- 中継器カバー裏面に感知器の使用アドレス表が貼り付けてあります。

●このシステムには 8 台の感知器が接続されていることを示しています。
●この場合、感知器アドレス番号に対応した表示灯が全部で8コ点灯します。

6 すべての試験が終了するとピーピーピー音が鳴ります。

●使用されていない感知器アドレス表示灯は消灯しています。

感知器が正常な場合

●対応するアドレス表示灯が点灯します。

感知器が異常の場合

●対応するアドレス表示灯が点滅します。
このとき室内の感知器の確認灯も点滅していますので異常な感知器の特定が容易にできます。
（ただし、外部試験器が遠隔試験中継器に接続され動作しているときに限ります。）

7

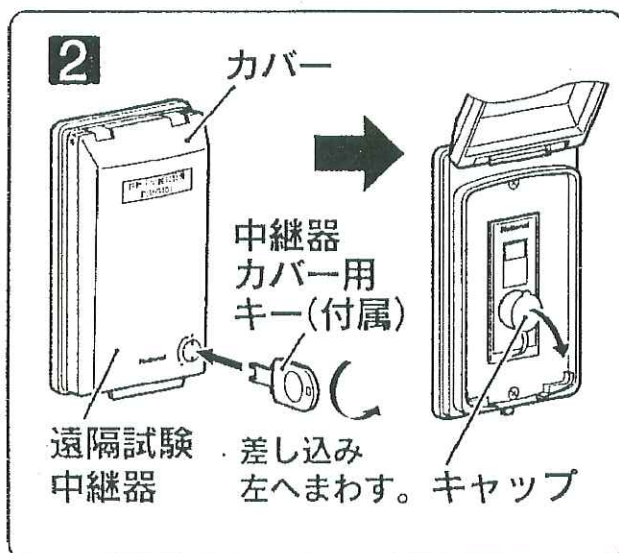
7 感知器試験終了ボタンを押す。

●ピッ音が鳴り、感知器アドレス表示灯が消灯します。
●これで火災感知器試験は終了です。

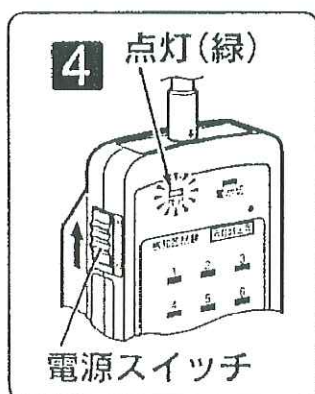
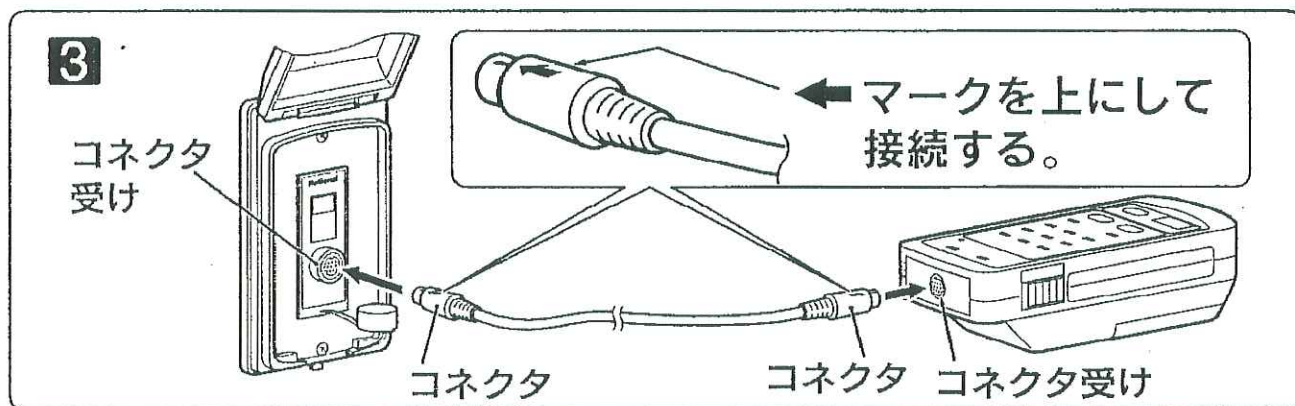
5.GP3級受信機試験の方法

●このGP3級受信機試験は、室内に設置されているGP型3級受信機またはP型3級受信機の火災信号受信機能の試験を行います。

1 住棟受信機の地区音響停止などの移信停止処置をしてください。

●移信停止処置をしないと、住棟受信機に接続された機器(音響装置など)が連動します。

■外部試験器に電池を取り付けてください。(5ページ参照)

2 遠隔試験中継器のカバーを中継器カバー用キー(付属)であけ、キャップをはずす。

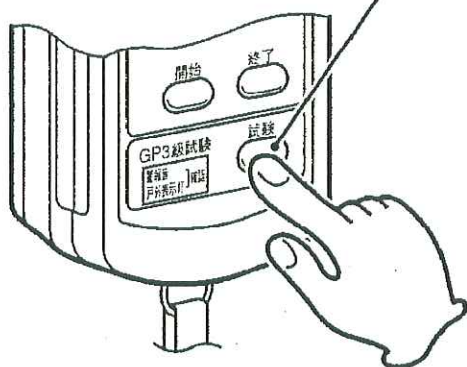
3 接続ケーブル(付属)を外部試験器と遠隔試験中継器に接続する。

4 電源スイッチを「ON」側にする。

●感知器アドレス表示灯1～10(赤)が約2秒間点滅し、ピー音が鳴り、電源表示灯(緑)が点灯します。

注 ●遠隔試験中継器に遠隔試験アダプタが接続されている場合は、外部試験器の電源スイッチを「ON」側にしている間、P型1級受信機に断線警報がでます。

⚠注意	必ず行う	●点検などで作動させる場合は、住棟受信機と連動している設備（音響装置など）の内容を十分確認して操作してください。 不用意な操作は機器類に損害を与えたり、人に危害をおよぼすおそれがあります。

注

●遠隔試験中継器に遠隔試験アダプタが接続されている場合は、火災発報となり、室内のGP型3級受信機またはP型3級受信機の警報音が鳴ります。

5 受信機試験ボタンを押す。

●ピッ音が鳴ります。

6 ドアホン子器の警報表示灯（赤）が点滅し、警報音が鳴り自動的に止まります。

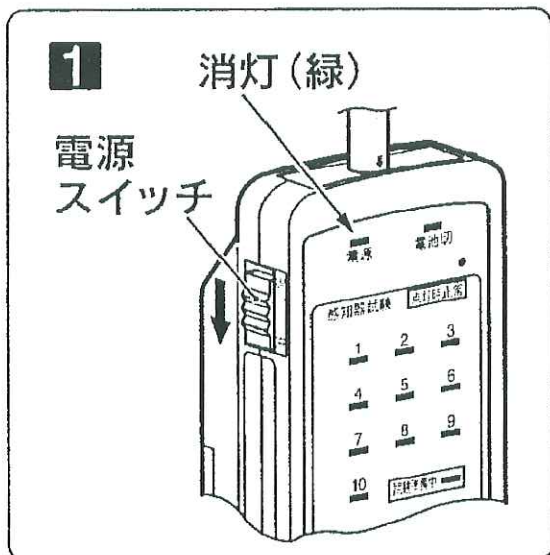
●これでGP3級受信機試験は終了です。

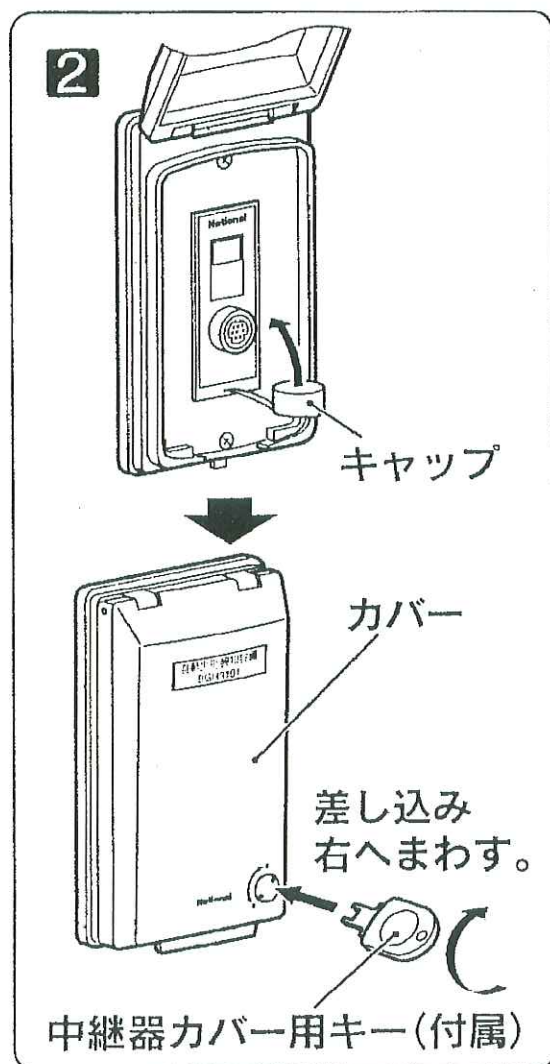
●試験中はドアホン呼出はできません。

注
- 室内のGP型3級受信機またはP型3級受信機の警報音は鳴りません。
- 警報音と警報音が止まるまでの時間は室内のGP型3級受信機またはP型3級受信機の機種によって異なります。
（約10秒で止まる機種と
約35秒で止まる機種があります。）
- 警報音が止まるまで、コネクタを抜いたり、外部試験器の電源スイッチを「OFF」側にしないでください。
試験が中断されます。

GP型3級受信機またはP型3級受信機が異常な場合

●ドアホン子器の警報表示灯が点滅せず、警報音が鳴りません。

6.点検作業の終了

1 外部試験器の電源スイッチを「OFF」側にする。

●電源表示灯(緑)が消灯します。

2 接続ケーブル(付属)をはずす。

3 遠隔試験中継器のキャップを取り付け、カバーをしめて中継器カバー用キー(付属)でしめる。

7.室内のGP型3級受信機または、P型3級受信機と住棟受信機間の配線確認方法

●GP3級試験のとき下記の条件を満たし、室内のGP型3級受信機または、P型3級受信機と住棟受信機間の配線に異常がなければ、ドアホン子器からの警報音が鳴り終わった直後に「ピッ」音が鳴ります。

条件1. 住棟受信機の地区音響停止を解除する。
　　2. 住棟受信機を点検状態にする。
　　3. GP3級受信機試験を1住戸ごとに行う。

8.試験中に火災を受信した場合

●自動的に試験状態を解除し、外部試験器の感知器アドレス表示灯がすべて点滅しピーピー音を鳴動します。
その室内の状況確認をし適切な処置をしてください。
（点滅とピーピー音を停止するには電源スイッチを「OFF」側にしてください。）
このとき室内のGP型3級受信機またはP型3級受信機は、火災警報をします。

9.異常時の点検・処置

●修理・サービスを依頼されるまえに、次の点検・処置をしてください。

状　　態	点　　検	処　　置
電源スイッチを「ON」側にしても電源表示灯が消えている。	電池が正しく装着されているか？	電池の極性をあわせる。(5ページ参照)
	ニカド電池は充電されているか？	充電する。
	―――	新しい電池と交換する。(5ページ参照)
	―――	電源スイッチを再度「ON」側にする。
電源表示灯が点滅している。	接続ケーブル(付属)が接続されているか？	本体および遠隔試験中継器の接続を直す。
電池切れ表示灯が点灯している。	―――	新しい電池と交換する。(5ページ参照)
	ニカド電池は充電されているか？	充電する。
火災感知器試験のとき、対応している感知器の感知器アドレス表示灯が点灯しない。	接続ケーブル(付属)が確実に接続されているか？	再度、感知器試験を行う。
		接続ケーブル(付属)を取り換えて、再度、感知器試験を行う。
受信機試験ボタンを押してもドアホン子器が動作しない。	ドアホン子器の警報表示灯が点灯していないか？	室内のGP型3級受信機またはP型3級受信機が、通話中または呼び出しを受けています。警報表示灯が消灯してから再度、GP3級受信機試験を行う。
	ドアホン子器の警報表示灯が点滅していないか？	室内のGP型3級受信機またはP型3級受信機が、警報動作中です。その室内の状況を確認し適切な処置をしてください。

●以下の状態のときは、施工店にご相談ください。

状態	点検	処置
電源スイッチを「ON」側にしても電源表示灯が消えている。	―――	外部試験器の故障です。
火災感知器試験のとき、対応している感知器の感知器アドレス表示灯が点灯しない。	注 感知器のアドレス番号が重複していないか？	感知器のアドレス番号を設定し直す。
	感知器配線が短絡または絶縁劣化していないか？	配線を直す。 感知器を確認する。
火災感知器試験またはGP3級受信機試験ができない。	遠隔試験中継器―GP型3級受信機またはP型3級受信機間の配線が短絡または、絶縁劣化していないか？	配線を直す。 遠隔試験中継器またはGP型3級受信機・P型3級受信機を確認する。
	遠隔試験中継器―ドアホン子器間の配線が短絡または、絶縁劣化していないか？	配線を直す。 遠隔試験中継器またはドアホン子器を確認する。

注 ●防水型の定温式スポット型感知器のアドレス番号は「1」固定のものと、「2」固定のものがあります。

10.定格・仕様

鑑定型式番号	鑑外第8～2号
電　源	単2アルカリ乾電池(1.5V)×4コ(別売)または 単2ニカド電池(1.2V)×4コ(別売)
消費電流	約140mA
電池寿命	点検住戸300住戸以上
使用周囲温度	0℃～+40℃
質　量	約500g(単2アルカリ乾電池4本収納時)

接続ケーブルの取り替えについて

●抜き差し回数1000回をめやすに接続ケーブルを交換してください。
〔外部試験用ケーブル(BGH97031)(別売)〕